

平成 21 年度事業報告

1. 概 要

昨年は一昨年のリーマンショック以降の世界的な経済危機が続き、わが国の産業界も極めて厳しい市場環境に見舞われた。このような中、わが国ではエコポイント制度、スクールニューディール政策、景気浮揚と温暖化対策を狙った政策が打ち出された。9月には民主党新政権が発足し、年末には今後の経済政策の柱となる「新成長戦略の基本方針」が示された。照明業界では、将来の柱と期待される照明用 LED が社会的に注目され、各社が電球形 LED ランプをはじめとする照明機器を発売するという“LED 元年”ともいうべき年であった。

このような情勢の下、電球業界の平成 21 年（暦年）の実績では、電球類の販売数量は、「一般照明用白熱電球」は前年比 86%、「その他の白熱電球」は 74%と減少した。「一般照明用蛍光ランプ」では、一昨年大幅に伸長した電球形蛍光ランプが前年比 93%、直管が 89%、環形が 94%と落込み、バックライト用蛍光ランプも数量減と価格下落により金額では 49%と大幅に減少した。その結果、電球類全体の年間の販売金額は 79.8%(3,438 億円)と前年を 20 ポイント下回る厳しい年となった。

当工業会では、関係諸官庁のご指導のもと、学会、関係団体と協調し、以下の諸施策を実行した。

- 1) 地球温暖化防止への貢献を目指し、省エネあかりフォーラム活動等を活用し、電球形蛍光ランプや電球形 LED ランプ、高周波点灯専用形蛍光ランプ等の省エネランプを普及促進した。また、電球形蛍光ランプのトップランナー基準を策定した。
- 2) 照明用 LED については直管蛍光ランプ形 LED ランプの市場品の安全性と性能を評価し、その問題点を公表した。また、照明用 LED を安全に且つ適切に活用するためのガイドラインの作成に着手するとともに、電球形 LED ランプの統計調査を実施した。
- 3) IEC 規格の審議と提案、JIS への反映などを推進し、片口金蛍光ランプ、メタルハライドランプの IEC 提案、電球形蛍光ランプや LED モジュールの性能仕様など 12 件の JIS 制定・改正案を作成した。また電球形 LED ランプを電気用品安全法の対象とするため、その技術基準案を策定した。
- 4) 環境問題では、「ランプの特定有害物質使用制限ガイドライン」を改正し、これに沿った活動を継続した。またヨーロッパランプ連合会と協力して改正 RoHS 指令への提案や放射性物質使用製品の国際輸送規制の緩和に取り組んだ。
- 5) 広報活動では「会報」の充実、及び「ホームページ」のリニューアルに取り組んだ。また、第 29 回「あかりの日」では、街頭 PR 活動と小学生ポスターコンテストは休止したが、住まいの照明省エネ BOOK を改正し、照明の省エネの啓蒙・普及と照明の適切な使用や効果の啓蒙に努めた。
- 6) 法人の見直しについては関係団体と協同して、一般社団法人化の方向で検討に着手した。

2. 総務関係

- (1) 通常総会、理事会、幹部会及び業界懇親会等の開催

- (2) 講演会の開催
- (3) 功績者表彰
- (4) 関係諸官庁、諸機関、諸団体との連携
- (5) 中小企業部会
- (6) 第 29 回「あかりの日」行事の実施
- (7) 米国照明事情視察団派遣
- (8) 当工業会事務所の移転

3. 業 務 関 係

- (1) 業務委員会の運営
- (2) 統計資料の収集と活用
- (3) 電球類及び安定器に関する情報
- (4) 新製品情報の周知
- (5) 家電公取協・家製協の情報
- (6) 広報業務
- (7) その他の業務関係

4. 技 術 関 係

- (1) 企画推進委員会（11 回開催）
 - (1-1) 技術・法規専門分科会（7 回開催）
- (2) 第 34-1 委員会（3 回開催）
- (3) 蛍光灯ランプ、白熱電球、ハロゲン電球、放電ランプ、蛍光灯電子安定器、蛍光灯安定器、放電灯安定器、電子トランス、口金類、蛍光灯ランプ封入水銀量測定方法の計 10 の JIS 改正原案作成分科会、及び一般照明用 LED の JIS 制定分科会
 - (3-1) 蛍光灯ランプ JIS 改正分科会（12 回開催）
 - (3-2) 白熱電球 JIS 改正分科会（10 回開催）
 - (3-3) ハロゲン電球 JIS 改正分科会（10 回開催）
 - (3-4) 電球類の 口金・受金・ゲージ JIS 改正原案作成委員会（4 回開催）
 - (3-5) 一般照明用 LED・JIS 制定分科会（11 回開催）
 - (3-6) 放電ランプ JIS 改正分科会（4 回開催）
 - (3-7) 蛍光灯電子安定器 JIS 改正分科会（6 回開催）
 - (3-8) 蛍光灯安定器 JIS 改正分科会（4 回開催）
 - (3-9) 放電灯安定器 JIS 改正分科会（5 回開催）
 - (3-10) 電子トランス JIS 改正分科会（5 回開催）
 - (3-11) JIS C 7803 改正分科会（5 回開催）
- (4) 光源の測定委員会（4 回開催）
- (5) 白熱電球技術委員会（10 回開催）
- (6) ハロゲン電球技術委員会（10 回開催）

- (7) 自動車用電球技術委員会（5回開催）
- (8) 自動車前照灯用 HID ランプ委員会（6回開催）
- (9) 蛍光ランプ技術委員会（12回開催）
 - (9-1) CISPR15 分科会（2回開催）
 - (9-2) JIS C 7803 IEC 整合作業分科会（3回開催）
 - (9-3) バックライト用蛍光ランプ技術分科会(3回開催)
- (10) 放電ランプ技術委員会（8回開催）
- (11) 無電極放電ランプ技術委員会（委員会開催なし）
- (12) 照明用 LED 標準化委員会（4回開催）
 - (12-1) 照明用 LED 測定分科会（5回開催）
 - (12-2) 照明用 LED 製品仕様分科会及び JIS 制定分科会（11回開催）
- (13) 照明用 LED 技術委員会（13回開催）
- (14) 安定器技術委員会（6回開催）
 - (14-1) 蛍光灯電子安定器分科会（6回開催）
 - (14-2) 放電灯安定器分科会（3回開催）
 - (14-3) 放電灯電子安定器分科会（9回開催）
 - (14-4) 電子トランス類分科会（6回開催）
- (15) 高調波対策委員会（3回開催）
- (16) 環境対策委員会（6回開催）
 - (16-1) 放射性物質に関する対応分科会（11回開催）
 - (16-2) JIS C 7803 改正分科会（2回開催）
- (17) PS 委員会（6回開催）
- (18) 包装委員会（6回開催）
- (19) 口金委員会（4回開催）
- (20) 知的財産権委員会（7回開催）
- (21) 配光法による全光束測定方法作業 WG（3回開催）
- (22) 関連委員会合同会議
 - (22-1) 蛍光ランプ・蛍光灯電子安定器合同打合会（6回開催）
 - (22-2) 放電ランプ・放電灯電子安定器合同技術打合会（11回開催）
- (23) IEC（国際電気標準会議）に関する活動
 - (23-1) IEC 国際会議への派遣（4回の計14名）
 - (23-2) IEC/TC34 国内委員会（4回開催）
 - (23-3) IEC/TC34/SC34A,B,C 回答原案作成委員会（3回開催）、SC34A 分科会（4回開催）、SC34B 分科会（4回開催）、SC34C 分科会（4回開催）
- (24) 社外団体との連携活動